

報告書に付属する目標・指標一覧（案）の概要

1. 本資料の位置づけ

- ・本資料は、次期生物多様性国家戦略研究会報告書の付属資料として、報告書案で示された「目指すべき自然共生社会像」を達成するために、掲げるべき具体的目標（マイルストーン・ターゲット）、及びその進捗を図るために望ましいと考えられる指標を研究会名で取りまとめるもの。
- ・目標及び指標は、第3回～第8回研究会において、議論をしてきた目標及び指標の例を踏まえ、報告書案の構成をベースに再整理したものとなっている。
- ・本資料の扱いについては、報告書の扱いと同様に、次期戦略の策定に活用することを想定している。

2. 資料の構成

- ・付属資料は、マイルストーン編とターゲット編の2部構成となっている。
- ・マイルストーン編は、報告書案に記載されている「1. 目指すべき自然共生社会像」【左列】に対応する2030年の状態に関するマイルストーンを一覧【中央列】にした上で、これらマイルストーンの進捗を把握するのに望ましいと思われる指標【右列】を整理している。
- ・ターゲット編は、報告書案に記載されている「2. 次期戦略において既存の取組に加えて取り組むべき3つのポイント」内の「次の10年間の取組」【左列】に対応する2030年までに取り組むべき行動に関するターゲットを一覧【中央列】にした上で、これらターゲットの進捗を把握するのに望ましいと思われる指標【右列】を整理している。

(構成概略図)

1. マイルストーン編

2050年において 目指すべき状態 ＜報告書（案）より抜粋＞	マイルストーン （2030年の状態）	指標
1 ①生存基盤となる多様で健全な生態系の保全・再生	1に対応するマイルストーン （2030年の状態）の記載	1に対応するマイルストーン （2030年の状態）の進捗状況を把握するための 指標
2 ②自然の恵みの持続可能な利用	2に対応するマイルストーン （2030年の状態）の記載	2に対応するマイルストーン （2030年の状態）の進捗状況を把握するための 指標
3 ③生物多様性の主流化	3に対応するマイルストーン （2030年の状態）の記載	3に対応するマイルストーン （2030年の状態）の進捗状況を把握するための 指標

2. ターゲット編

次期戦略における取り組むべき3つのポイント ＜報告書（案）より抜粋＞	ターゲット （社会実装、参画行動）	指標
1 ①生存基盤となる多様で健全な生態系の保全・再生	1に対応するターゲット （社会実装、参画行動）の記載	1に対応するターゲット （社会実装、参画行動）の進捗状況を把握するための 指標
2 ②自然の恵みの持続可能な利用	2に対応するターゲット （社会実装、参画行動）の記載	2に対応するターゲット （社会実装、参画行動）の進捗状況を把握するための 指標
3 ③生物多様性の主流化	3に対応するターゲット （社会実装、参画行動）の記載	3に対応するターゲット （社会実装、参画行動）の進捗状況を把握するための 指標